

第3分科会

A 家族・家庭生活

坂井市立丸岡中学校

〒910-0351 坂井市丸岡町寅国5-15

TEL: 0776-66-1313



地域の一員として、地域を見つめ直すために、地域でさまざまな活動に取り組んでいる「かがやきビト」を探し出し、交流するなど実践的・体験的な学習活動を進めている。本時では、中学生として「地域のためにできること」「地域とどのように関わっていくか」について再検討し、改善していく。「地域の人とのつながり」を意識し、地域への思いや願いを知るために地域と人と直接かかわる機会を設ける。地域の人々と関わりをもち、協働・共生していく大切さを考える授業。

授業者

坂井市立丸岡中学校教諭

平 葉月

助言者

福井大学特命教授

横山 美弥子 様

提案者

勝山市立勝山北部中学校教諭

宮本 知枝子

他県発表

石川県 B 衣食住の生活（食生活）

各都道府県市町教育委員会教育長 様

各国立大学法人・公立・私立中学校長 様

各中学校技術・家庭科担当者 様

関係者 各位

第61回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会

福井大会 大会運営委員長 大橋 周一郎

第61回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会

令和6年度 福井県中学校技術・家庭科研究大会

福井大会のご案内（最終案内）

時下、皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、この度、第61回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会を福井県にて開催いたします。

本大会では、『学びを生かし、よりよい社会を構築するための実践力の育成』を研究主題に学習活動を展開し、本教科の一層の充実をめざして研究を進めております。

つきましては、貴職をはじめ、本教科担当の先生方、および関係各方面から多数のご参加をいただき、ご指導、ご助言を賜りたくご案内申し上げます。

大会開催要項

1 主催

全日本中学校技術・家庭科研究会

東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究会

福井県中学校教育研究会技術・家庭科部会、福井県中学校技術・家庭科研究会

2 後援

福井県教育委員会 福井市教育委員会 坂井市教育委員会

越前市教育委員会 福井県中学校長会

福井県教育公務員弘済会 福井県産業教育振興会

公益社団法人全国中学校産業教育教材振興協会

3 期日

令和6年10月31日（木）

午前 理事研修会

AOSSA（アオッサ）研修室

午後 全体会、講演会

AOSSA（アオッサ）県民ホール

令和6年11月 1日（金）

公開授業、分科会

福井県内3会場

10 大会参加申込について

(1) 大会参加費（資料代） 4,000 円

(2) 申込期間 令和6年8月1日～9月6日

(3) 申込方法 福井県 HP <https://ajgika.ne.jp/~fukui/>
のリンクより外部申し込みサイトへお入りください。

11 分科会資料・詳細日程について

分科会の当日の指導案、研究資料等は、福井県技術・家庭科研究会のサイト上にアップします。また、各分科会の詳細な日程も各分科会のページで確認できるようにいたします。ご確認ください。

第61回東海・北陸地区中学校技術・家庭科研究大会 福井大会
福井県中学校技術・家庭科研究会 HP



12 お問い合わせ（大会事務局）

福井県中学校技術・家庭科研究会 事務局 越前市南越中学校 笹本浩太郎
〒915-0264 福井県越前市野岡町 28-4
TEL: 0778-42-1870 FAX: 0778-42-1871

4 日程

【10月31日(木)】

10:00	10:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:30	14:50	16:00	16:20
理事 受付	理事会	昼食 休憩	一般 受付	開会式	全体会 指導講評	休憩	記念講演	閉会式	

【11月1日(金)】

第1分科会 第2分科会 第4分科会

8:40	9:00	9:40	10:30	10:50	11:50	12:50	13:50	14:00	15:00	15:20
受付	開会式	公開授業	休憩	授業研究 協議	昼食休憩	研究協議① 指導講評	休憩	研究協議② 指導講評	閉会式	

第3分科会

8:40	9:00	9:40	10:30	10:50	12:10	13:20	14:20	14:30
受付	開会式	公開授業	休憩	授業研究協議①	昼食休憩	研究協議② 指導講評	閉会式	

5 研究主題

『学びを生かし、よりよい社会を構築するための実践力の育成』 ～学校・家庭・地域がつながる学習活動を通して～

<主題設定の理由>

現在、少子高齢化による生産年齢人口の減少やグローバル化の進展、異常気象による災害の増加など、急速に時代が変化をしており、深刻な問題が多発している状況である。また、人工知能の飛躍的な進展に伴い、学校教育に大きな変革をもたらすのではないかと懸念されている。このような予測困難な時代において、今の子供たちは新時代の担い手としてたくましく生き抜いていく必要がある。そのため、子供たちが自ら設定した課題に対して、主体的に学習に取り組む力や、他者との協働を通して解決していく力が求められていく。そして、知識や技能の習得とあわせて、思考力、判断力、表現力等の育成もバランスよく形成していくことが大切である。自ら学び、自ら考えて身に付けた力が、新時代を切り拓く資質・能力へとつながる鍵となる。

本県では、研究の軸となる『実践力』について、長年追究を重ねてきた。本研究では、『実践力』を「授業で培った学びが、実生活で生かされるだけでなく、未来を切り拓く資質・能力へと変容していく力」と「正解のない問いに対して、制約条件を考え、何度も練り直しながら最適化を図ろうとする実践的な態度」であると捉えた。その『実践力』の育成に向けて、実生活の中で気付いた問いから課題を設定し、解決策を検討・計画し、生活の中での実践や他者からの提案を通して、自分の考えをブラッシュアップし、次の学びへとつなげていくという「学びのプロセス」を取り入れる。このような一連の学習過程を積み重ね、探究的に学びを構築することで『実践力』が高まると考え、研究主題を設定した。

また、社会に開かれた教育課程の実現を目指し、学校・家庭・地域が幅広く連携しながら授業を創り上げていくことが、新しい時代に求められている資質・能力の育成につながると考える。学校・家庭・地域が相互に関わり合い重なり合いながら、学びの往還を繰り返すことで、実践的な学びへと繰り上がっていきと捉え、研究副題を設定した。

6 記念講演

〈演題〉『こどもパソコン IchigoJam と IT ブートキャンプで取り戻す、技術立国日本！』 〈講師〉福野 泰介 氏（株式会社 jig.jp 代表取締役社長）

デジタル庁 オープンデータ伝道師 / 総務省 地域情報化アドバイザー

小学校3年時にプログラミングにはまり、福井高専卒業後、3社目の創業、株式会社 jig.jp にて jig ブラウザを開発。鯖江市にオープンデータを提案し、日本初のオープンデータ都市の誕生と共に、毎日アプリを創って発表する「一日一創」をスタート。「すべてのこどもたちにプログラミングを」を理念とする PCN(プログラミングクラブ ネットワーク)の共同創始者で、こどもパソコン IchigoJam 開発者。デジタル庁オープンデータ伝道師、神山まるごと高専技術教育統括ディレクター兼非常勤講師も務める。ブログ「一日一創」<https://fukuno.jig.jp/>

7 全体会会場

AOSSA (アオッサ) <http://www.aossa.jp/access/>

〒910-0858 福井市手寄1-4-1

【JR】 北陸新幹線「福井駅」下車 東口から徒歩1分

【車】 「福井IC」より車で20分



地図

8 指導助言者

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 情報教育振興室 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 **渡邊茂一 様**

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課 教科調査官
国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 **熊谷有紀子 様**

9 分科会

分科会 / 会場 / 授業・研究の概要

地図 QR コード

授業者・発表者・助言者・協力者

第1分科会 A 材料と加工の技術

坂井市立三国中学校

〒913-0043 坂井市三国町錦1丁目7-3

TEL: 0776-82-1177



地域の歴史ある建物を生かして学習活動を進めている。本時では、北前船の港町として栄えた三国の古い建物から、そこに秘められた先人の技術を読み取る活動を行う。「材料」「加工」「構造」の観点を、「使用者」「生産者」の立場から、その技術が使われてきた理由について探究していく。多様な意見を出し合い、当時の人がどう折り合いをつけながら建築を行ってきたのか、過去から未来につながる時間軸を追いながら深めていく授業。

授業者
坂井市立三国中学校教諭
岡 裕史
助言者
福井大学准教授
守田 弘道 様

他県発表
岐阜県 A 材料と加工の技術
三重県 B 生物育成の技術

第2分科会 C エネルギー変換の技術

越前市武生第三中学校

〒915-0084 越前市村国2丁目3-56

TEL: 0778-23-1433



2024年3月。北陸新幹線が延伸し、来県した人たちが利用できるモビリティの開発をテーマに学習活動を進めている。本時では、観光地を想定したコースを試走していく中で、開発してきたモビリティの発表を行う。より理想のモビリティになるように話し合いの中で出てきた課題に対して、最適な速度伝達比やモータ出力などを試行錯誤していく。経済性や環境負荷など様々な視点を取り入れながら、最適なエネルギー利用について探究していく授業。

授業者
越前市武生第三中学校教諭
東 秀樹
助言者
福井大学准教授
石川 和彦 様
協力者
埼玉大学教授
山本 利一 様

他県発表
富山県 C エネルギー変換の技術

第2分科会 D 情報の技術

「地域の情報を効率よく発信するためには、どのようなコンテンツが必要だろう。」このような課題を解決するために、デジタルマップの制作に取り組んでいる。家庭や地域からの要望を聞いたり調査を行ったりしながら作成したデジタルマップを Web 上に公開し、広がりのある学習活動を展開する。さらに、「学びのプロセス」に基づき、試行錯誤を繰り返しながらプログラムの改良などを行い、実践力の育成を目指していく。

提案者
鯖江市鯖江中学校教諭
橋本 慎太郎
助言者
福井大学准教授
小林 溪太 様